絶賛発売中

哲学者が導く「美と信仰」の一千年ものがたり

京都には名所旧跡がひしめいているが、一千年にわたる歴史と文化の「残照美」を次々に見せてくれる空間は、ここ「哲学の道」沿いだけだ。（序文より抜粋）

残照美：文化において、過ぎ去ることのない伝統という形で美的なものとなって現れる現象。

《京都》

「哲学の道」を歩く

大橋 良介 著

A5判、並製、カバー掛け、巻頭カラー8頁、本文240頁、1800円（税別）

"哲学の道"だけが見せる歴史と文化の【残照美】を一つひとつの場面で描く珠玉のエッセイ集

「哲学の道」を歩く 目次

Ⅰ 古代から近世まで
第1章 冷泉天皇の狂気と「もののけ」
第2章「俊寛」の虚と実
第3章 松虫・鈴虫の「女人往生」と二僧の斬首
第4章 残夢の光芒
第5章 影絵の女王・宗諄と、その時代
Ⅱ 近　代
第6章 ゲーテの詩が語るもの
第7章「いき」と「陰翳」
第8章 水の美学
第9章 西田天香・一燈園と「もう一つの美」
第10章 四季を散策する
第11章 残照美の創生
余　章 ドイツの〈哲学の道〉七選
付　録 哲学の道〈周辺〉グルメ・マップ
（作：アニー・ド・ベレス）

ご注文 FAX. 075-205-0528

▶ 鍬谷書店さん 経由で全ての取次に出荷可能です。

番線印	ご注文	
ご担当　様	部	京都「哲学の道」を歩く　大橋良介 著 定価 1,800 円（税別）ISBN978-4-906806-17-1 C0126

文屋秋栄
ふみやしゅうえい
〒607-8006 京都市山科区安朱馬場ノ東町 15－5
Tel.075-502-0428　／　books_dept@fumiya-shuei.com